

# Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年5月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
2008年5月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。  
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.axa.co.jp/life/>

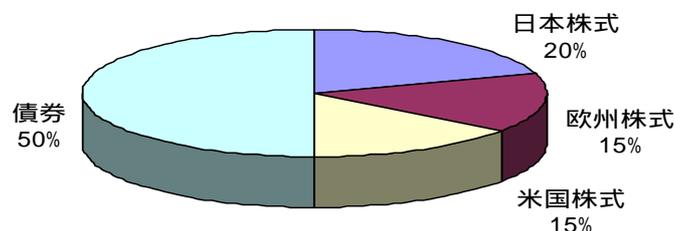
## 特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

## 目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



\* 上記は設定当初の資産配分比率です。  
\* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

## 運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

### アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 運用環境について(2008年5月)

## 【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の当月末終値は、日経平均が+3.53%の14,338.54円、TOPIXが+3.64%の1,408.14ポイントとなりました。当月は月初に国内外景気の下振れリスク警戒感から下押しする局面もあったものの、外国人投資家の買いが継続的に入る中、2008年3月期決算発表で好業績銘柄が株価の上昇をリードし、2ヶ月連続の上昇となりました。また、為替が円安に振れたことも日本株式市場の上昇を後押ししました。中小型市場はTOPIX同様の堅調な推移となり、好業績銘柄を中心に安値を拾う動きが続きました。東証2部および日経ジャスダック平均の月間騰落率は、それぞれ+4.13%、+3.73%となりました。

需給面では、外国人投資家が8週連続での買い越しとなり、株価の上昇に寄与しました。また、約700億円規模の日本株式を投資対象とするファンドが設定されるなど、投資家のマインドは改善しているようです。一方、売り越しは信託銀行となりました。

東証33業種の動きとして上昇した業種は、パルプ・紙、鉱業、建設業などで、下落した業種は、ゴム製品、電気・ガス業、空運業などでした。

## 【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は+1.07%、ダウ平均株価は 1.42%、ナスダック指数は+4.55%とまちまちの結果となりました。(いずれも現地通貨ベース)。

月初は、4月末に発表された1-3月期の実質GDPが前期比で市場予想を上回る伸びとなったことや、4月の雇用統計で非農業部門雇用者数の減少幅が市場予想ほどではなかったことが、好感されました。しかし、月中旬にかけて保険最大手AIGの1~3月期決算で信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題に絡む損失が膨らんだことや、金融最大手シティグループの資産売却などの金融セクターにおける悪材料もあり、株価は短期的な調整局面を迎えました。

その後は、4月の住宅着工件数が前月比で+8.2%と予想を上回ったことに加え、予想に反してCPIの伸び率が鈍化したことからインフレ懸念が後退すると、米国株式市場は大幅に上昇しましたが、26日のメモリアルデーにかけては、マクロ/ミクロ指標で景気悪化を示すものが増加し、下落する展開となりました。しかし、月末にかけては、ニューヨーク原油先物価格が大幅下落し、景気強気指標などを好感して株価は小幅反発しました。

## 【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は 0.28%、英FT100指数は 0.56%、仏CAC指数は+0.36%、独DAX指数は+2.13%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

当月の欧州株式市場は揉み合いの展開となりました。米国の経済指標や原油価格の動向をにらみながら、上下変動の激しい値動きとなりました。月初は、発表された米国の経済指標が概ね予想を上回ったことなどが買い材料となり、上昇する局面もありましたが、上昇し続ける原油に代表される商品価格の高騰は、個人消費の減速や企業のコスト上昇懸念を呼び、月を通して欧州株式市場の重石となりました。米国保険最大手AIGの決算結果が予想以上の損失を発表したことは欧州の金融セクターに対し売り材料となりました。なお、米国同様、英国でも住宅市場は急速に落ち込んでおり、軟調に推移しました。当月、欧州中央銀行(ECB)、イングランド銀行は共に政策金利を据え置きました。

## 【国内債券市場】

当月の国内債券市場は、世界的なインフレ懸念の台頭と国内景況感の悪化懸念を両にらみながら、日々の値幅変動は大きく、軟調となりました。10年国債利回りは、1.8%の水準まで上昇し、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題に伴う信用収縮懸念が台頭する前の水準となりました。

2008年1-3月期の実質GDPは3.3%(年率)と予想以上に強かったものの、それ以外の経済指標は総じて弱く、足元の景気減速懸念は残る環境となりました。しかしながら、原油価格等の高騰により世界的なインフレ懸念が強まり、金利上昇基調となったことから、国内景況感を意識しながらも、国内債券もその動きに連動性を強める結果となりました。米連邦準備制度理事会(FRB)がインフレ警戒姿勢を強めたことが、米国の金利上昇を招き、世界的な金利上昇の動きにつながりました。国債の入札等において、強い需要は見られず、国内投資家の買い急いでいない状況が更に需給悪化懸念につながりました。新年度入りして、日本株式市場が堅調さを維持していることも債券の軟調な動きを助長する結果となりました。

## (参考指標)

		2008年4月末	2008年5月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1,358.65 ポイント	1,408.14 ポイント	3.64%
	日経平均	13,849.99 円	14,338.54 円	3.53%
	新発10年国債	1.575 %	1.740 %	0.165上昇
米国	NYダウ	12,820.13 ドル	12,638.32 ドル	-1.42%
	S&P500	1,385.59 ポイント	1,400.38 ポイント	1.07%
	NASDAQ	2,412.80 ポイント	2,522.66 ポイント	4.55%
	10年国債	3.728 %	4.060 %	0.332上昇
欧州	FT100	6,087.30 ポイント	6,053.50 ポイント	-0.56%
	CAC40	4,996.54 ポイント	5,014.28 ポイント	0.36%
	DAX	6,948.82 ポイント	7,096.79 ポイント	2.13%
	独10年国債	4.123 %	4.405 %	0.282上昇
為替	米ドル/円レート	104.14 円	105.75 円	1.55%円安
	ユーロ/円レート	162.15 円	164.09 円	1.20%円安

\* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

\* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 特別勘定の資産内容について(2008年5月)

### 【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
07/06/30	1.025
07/07/31	1.007
07/08/31	0.993
07/09/30	1.007
07/10/31	1.009
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959

### 【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
1.26%	-2.31%	-6.56%	1.16%	10.60%	-4.06%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率は、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

### 【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	730,221	2.0
日本株式型投資信託 (アクサR)	3,798,528	10.2
日本株式型投資信託 (アクサR)	5,731,986	15.4
米国株式型投資信託(アクサR)	5,514,867	14.8
欧州株式型投資信託(アクサR)	3,657,055	9.8
日本債券型投資信託(アクサR)	17,297,164	46.4
その他	546,326	1.5
特別勘定合計	37,276,150	100.0

注) 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っていません。

### 【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,107	2,550,793
終身型	55,601	298,141,670
合計	56,708	300,692,464

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

### 【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

### 【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チーム)



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】** TOPIX

**【運用状況】**

当月は、ベンチマークであるTOPIXが+3.64%であったのに対し、当ファンドは、+4.73%となりました。  
当月の日本株式市場は、前月上昇していた銘柄が、当月は下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。  
業種別では、上昇した機械、卸売業、金属製品などをベンチマーク比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。  
個別銘柄では、上昇した山陽特殊製鋼(5481)や富士通(6702)などをベンチマーク比で多めに保有していたことや、下落したりそなホールディングス(8308)を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

**【今後の運用方針】**

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。  
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.4%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.2%
4	三菱商事	卸売業	1.8%
5	キヤノン	電気機器	1.7%
6	任天堂	その他製品	1.6%
7	日本電信電話	情報・通信業	1.6%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.6%
9	新日本製鐵	鉄鋼	1.5%
10	本田技研工業	輸送用機器	1.4%
合計			20.6%
組入銘柄数			462銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

## 日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】** TOPIX

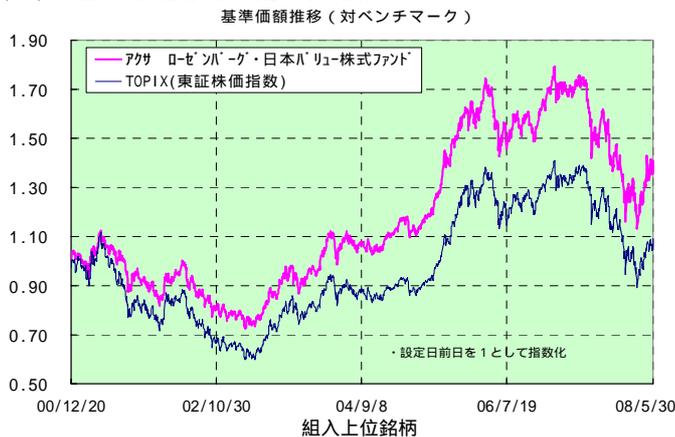
**【運用状況】**

当月は、ベンチマークであるTOPIXが+3.64%であったのに対し、当ファンドは、+5.35%となりました。  
当月の日本株式市場は、前月上昇していた銘柄が、当月は下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して少なめに保有していたことがプラスに寄与しました。  
業種別では、上昇した卸売業や石油・石炭製品をベンチマーク比で多めに保有していたことや、下落した銀行業を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。  
個別銘柄では、上昇した富士通(6702)、国際石油開発帝石ホールディングス(1605)や日本電信電話(9432)などをベンチマーク比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

**【今後の運用方針】**

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。  
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



	銘柄	業種	比率
1	三菱商事	卸売業	3.4%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.0%
3	三井物産	卸売業	3.0%
4	東芝	電気機器	2.9%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	2.8%
6	ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	2.8%
7	日産自動車	輸送用機器	2.5%
8	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.5%
9	日立製作所	電気機器	2.5%
10	国際石油開発帝石ホールディングス	鉱業	2.4%
合計			27.8%
組入銘柄数			369銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

**欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** MSCI 欧州株式指数(為替ヘッジあり)

**【運用状況】**

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 0.39%であったのに対し、当ファンドは+0.86%となりました。

当月の欧州株式市場は、金利の上昇懸念から、債務借入の大きい企業が相対的に下落する基調にあり、当ファンドでは、これらの銘柄をベンチマーク比で少なめに保有していたことは、プラスに寄与しました。

業種別では、上昇した石油メジャー、金属を多めに保有していたことや、下落したその他金融を少なめに保有していたことがいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、上昇したエネルギー銘柄のスタイルハイδρο(ノルウェー)やENI(イタリア)をベンチマーク比で多めに保有していたことや、下落した各種銀行のUBS AG(スイス)を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



**【今後の運用方針】**

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	トタル SA	エネルギー	2.8%
2	BP PLC	エネルギー	2.4%
3	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	2.4%
4	ロイヤル・ダッチ・シェルPLC-A SHS	エネルギー	2.1%
5	ENI SPA	エネルギー	1.9%
6	HSBCホールディングス PLC	銀行	1.7%
7	ネスレ	食品・飲料・タバコ	1.7%
8	ロイヤル・ダッチ・シェルPLC-B SHS	エネルギー	1.6%
9	アングロ・アメリカン PLC	素材	1.5%
10	シーメンス	資本財	1.5%
合計			19.6%
組入銘柄数			299銘柄

\* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

**米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** S & P 500(為替ヘッジあり)

**【運用状況】**

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が+0.33%であったのに対し、当ファンドは+1.33%となりました。

当月の米国株式市場は、金利の上昇懸念から、債務借入の大きい企業が相対的に下落する基調にあり、当ファンドでは、これらの銘柄をベンチマーク比で少なめに保有していたことは、プラスに寄与しました。

業種別では、下落した銀行やその他金融をベンチマーク比で少なめに保有していたことや、上昇した石油サービスを多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

個別銘柄では、上昇したエネルギーのナショナル・オイルウェル・パーコ、ヘス、資本財のフルアーなどをベンチマーク比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



**【今後の運用方針】**

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	エクソン・モービル	エネルギー	4.5%
2	シェブロン	エネルギー	2.2%
3	IBM	テクノロジー製品・機器	2.1%
4	ゼネラル・エレクトリック	資本財	2.1%
5	アップルINC	テクノロジー製品・機器	2.0%
6	コノフィリップス	エネルギー	1.7%
7	AT&T	電気通信サービス	1.6%
8	シュルンベルジェ	エネルギー	1.6%
9	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	1.5%
10	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー	1.5%
合計			20.8%
組入銘柄数			279銘柄

\* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

**日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)**

**【運用方針】:** 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

**【運用状況】**

当月の当ファンドは 0.64%となり、ベンチマークは 0.67%となりました。

中長期的な観点では、景気、物価情勢は概ね日銀の展望に沿う形で推移してきているものの、依然として消費は弱く、円高や輸入コストの増加により企業収益には陰りが見られます。米サブプライムローン問題の深刻化や米国景気減速懸念の後退により、債券が軟調な地合いであったものの、水準的な観点からも、それ以上の金利上昇の可能性は低いと判断しました。従って、デュレーション・ポジションは月を通して中立水準を保ったことから、パフォーマンスに対する寄与はありませんでした。世界的なインフレ懸念の拡大を受けて、中長期的な観点からインフレ連動国債を小幅に買い増したことが、小幅ながらプラスに寄与しました。社債等の対国債利回り較差は、4月の市場心理回復の後、安定的に推移したことから、総じて中立的な寄与となりました。



信託財産の構成

	組入比率	デュレーション
公社債	99.3%	4.26年
短期資産等*	0.7%	43.71年
合計	100.0%	4.52年

\* 債券先物を含む

**【今後の運用方針】**

中長期的な観点では、景気、物価動向は概ね日銀の展望に沿った形で推移していると言えます。しかし、米サブプライムローン問題の波及等の不確実要素が残る、日銀は依然としてそれらの点について詳細に点検を行う必要があると考えられ、政策金利の据え置きが続いています。米国景気悪化懸念や米国の利下げ期待が遠のく等、市場心理の改善があるものの、海外からもたらされる不確実性を強く意識しなければならない環境は継続しており、国内景気への配慮も必要です。当面、米サブプライムローン問題の波及やそれに伴う金融システム不安、及び国内景気への影響に配慮するだけでなく、閉塞感が強まっている国内景気へも配慮しながらの金融政策運営が必要となっています。当社は今後国内要因、外的要因の影響等を注視し、政策金利への影響も考慮しつつ運用を行っていく方針です。

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	81.7%	4.53年
地方債	0.0%	0.0年
特殊・財投債	2.8%	2.96年
金融債	0.5%	2.05年
社債等	14.3%	2.98年
コールローンその他*	0.7%	43.71年
合計	100.0%	4.52年

\* 債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	4.2%
AA	90.0%
A	4.8%
BBB	1.0%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

\*\* S&P格付を優先

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

**注意事項**

**変額保険の仕組み**  
 変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。  
 \*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

**変額保険のリスクについて**  
**市場リスク**  
 特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

**信用リスク**  
 万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
 編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-346	1,000	-309	-4.06	-0.53
平成12年 9月 1日	1,000	-354	1,000	-317	-5.48	-0.72
平成12年 10月 1日	1,000	-330	1,000	-294	-2.77	-0.37
平成12年 11月 1日	1,000	-310	1,000	-275	-0.57	-0.08
平成12年 12月 1日	1,000	-287	1,000	-253	1.96	0.26
平成13年 1月 1日	1,000	-267	1,000	-233	4.21	0.56
平成13年 2月 1日	1,000	-279	1,000	-245	2.31	0.31
平成13年 3月 1日	1,000	-241	1,000	-209	6.68	0.90
平成13年 4月 1日	1,000	-219	1,000	-187	9.08	1.22
平成13年 5月 1日	1,000	-243	1,000	-211	5.60	0.77
平成13年 6月 1日	1,000	-235	1,000	-203	6.25	0.87
平成13年 7月 1日	1,000	-220	1,000	-189	7.73	1.08
平成13年 8月 1日	1,000	-191	1,000	-161	10.90	1.53
平成13年 9月 1日	1,000	-149	1,000	-121	15.66	2.18
平成13年 10月 1日	1,000	-98	1,000	-71	21.58	2.97
平成13年 11月 1日	1,000	-115	1,000	-87	19.08	2.69
平成13年 12月 1日	1,000	-120	1,000	-93	17.98	2.58
平成14年 1月 1日	1,000	-120	1,000	-92	17.62	2.56
平成14年 2月 1日	1,000	-90	1,000	-63	20.83	3.03
平成14年 3月 1日	1,000	-97	1,000	-70	19.48	2.89
平成14年 4月 1日	1,000	-112	1,000	-84	17.31	2.62
平成14年 5月 1日	1,000	-104	1,000	-77	17.82	2.73
平成14年 6月 1日	1,000	-106	1,000	-79	17.15	2.67
平成14年 7月 1日	1,000	-65	1,000	-39	21.68	3.37
平成14年 8月 1日	1,000	-28	1,000	-2	25.90	4.03
平成14年 9月 1日	1,000	-24	1,000	1	25.90	4.09
平成14年 10月 1日	1,000	7	1,000	34	29.48	4.66
平成14年 11月 1日	1,000	11	1,000	37	29.46	4.73
平成14年 12月 1日	1,000	-3	1,000	23	27.21	4.47
平成15年 1月 1日	1,000	27	1,000	54	30.55	5.04
平成15年 2月 1日	1,000	55	1,000	83	33.67	5.59
平成15年 3月 1日	1,000	63	1,000	91	34.20	5.76



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	68	1,000	97	34.36	5.88
平成15年 5月 1日	1,000	52	1,000	79	31.62	5.55
平成15年 6月 1日	1,000	38	1,000	65	29.36	5.28
平成15年 7月 1日	1,000	19	1,000	46	26.64	4.92
平成15年 8月 1日	1,000	10	1,000	37	25.03	4.73
平成15年 9月 1日	1,000	3	1,000	29	23.64	4.57
平成15年 10月 1日	1,000	2	1,000	28	23.09	4.55
平成15年 11月 1日	1,000	-7	1,000	18	21.41	4.32
平成15年 12月 1日	1,000	-2	1,000	23	21.61	4.44
平成16年 1月 1日	1,000	-12	1,000	13	19.96	4.21
平成16年 2月 1日	1,000	-23	1,000	2	18.25	3.94
平成16年 3月 1日	1,000	-33	1,000	-7	16.58	3.68
平成16年 4月 1日	1,000	-45	1,000	-20	14.71	3.35
平成16年 5月 1日	1,000	-42	1,000	-16	14.67	3.41
平成16年 6月 1日	1,000	-30	1,000	-4	15.66	3.70
平成16年 7月 1日	1,000	-40	1,000	-14	14.10	3.43
平成16年 8月 1日	1,000	-20	1,000	5	15.96	3.94
平成16年 9月 1日	1,000	-18	1,000	6	15.73	3.97
平成16年 10月 1日	1,000	-16	1,000	9	15.55	4.02
平成16年 11月 1日	1,000	-11	1,000	14	15.80	4.18
平成16年 12月 1日	1,000	-20	1,000	5	14.28	3.89
平成17年 1月 1日	1,000	-33	1,000	-7	12.37	3.47
平成17年 2月 1日	1,000	-30	1,000	-5	12.25	3.53
平成17年 3月 1日	1,000	-42	1,000	-17	10.48	3.11
平成17年 4月 1日	1,000	-40	1,000	-15	10.28	3.14
平成17年 5月 1日	1,000	-22	1,000	3	11.96	3.73
平成17年 6月 1日	1,000	-31	1,000	-5	10.60	3.42
平成17年 7月 1日	1,000	-40	1,000	-15	9.10	3.03
平成17年 8月 1日	1,000	-49	1,000	-24	7.66	2.64
平成17年 9月 1日	1,000	-53	1,000	-28	6.86	2.44
平成17年 10月 1日	1,000	-81	1,000	-57	3.30	1.23
平成17年 11月 1日	1,000	-73	1,000	-48	3.87	1.48
平成17年 12月 1日	1,000	-94	1,000	-93	1.18	0.47
平成18年 1月 1日	1,000	-107	1,000	-106	-0.64	-0.26
平成18年 2月 1日	1,000	-117	1,000	-116	-2.02	-0.87



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-109	1,000	-108	-1.51	-0.67
平成18年 4月 1日	1,000	-113	1,000	-113	-2.39	-1.11
平成18年 5月 1日	1,000	-108	1,000	-107	-2.19	-1.06
平成18年 6月 1日	1,000	-74	1,000	-73	1.16	0.58
平成18年 7月 1日	1,000	-73	1,000	-73	0.82	0.43
平成18年 8月 1日	1,000	-70	1,000	-70	0.80	0.44
平成18年 9月 1日	1,000	-85	1,000	-108	-1.14	-0.66
平成18年 10月 1日	1,000	-82	1,000	-102	-1.21	-0.73
平成18年 11月 1日	1,000	-83	1,000	-101	-1.68	-1.06
平成18年 12月 1日	1,000	-81	1,000	-96	-1.81	-1.21
平成19年 1月 1日	1,000	-96	1,000	-108	-3.72	-2.64
平成19年 2月 1日	1,000	-102	1,000	-112	-4.73	-3.57
平成19年 3月 1日	1,000	-100	1,000	-108	-4.92	-3.95
平成19年 4月 1日	1,000	-97	1,000	-102	-4.91	-4.23
平成19年 5月 1日	1,000	-101	1,000	-103	-5.65	-5.22
平成19年 6月 1日	1,000	-106	1,000	-106	-6.56	-6.56

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年5月末までの運用実績を示したものです。  
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

